



研究者名※	川端 有子	学位※	PhD (Literature)
所属※	家政学部 児童学科	職名※	教授
連絡先	kawabataa@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/read0020163		
研究分野※	人文学 文学 英米文学・英語圏文学		
研究キーワード※	英文学 米文学 英語圏文学 比較文学		
共同研究・競争的資金等の研究課題			
社会貢献・産学官連携活動等	厚生労働省 児童福祉文化分科会 出版物委員会委員 文部科学省 教科用図書検定委員会 国語小委員会審査員 産経児童文化出版賞 審査委員		
受賞歴			

研究領域	英米・英語圏の児童文学研究	(SDGs)
研究テーマ※	イギリスにおける学童疎開と児童文学の関連	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 第二次世界大戦下イギリス人の子ども世代に大きな影響を与えた学童疎開については多くの経験談やこれにもとづいた子ども向けの小説が書かれている。非常時における政策とそれが子どもたちの日常や心身に及ぼした影響をつぶさに観察できる記録と言える。日本においてもこの時期の学童疎開の経験は書き残され、作品化もされているが、二つの国の相違点は非常に大きい。イギリスにおける子ども向けの「疎開小説」を読み解くことにより、教育や福祉への考え方、また戦争を語ることの姿勢や目的などを明らかにし、児童文学のもつ文化的な力について考察する。広くは日本とイギリスとの比較文学・比較文化的考察にも広げていけると考える。</p> <p>【応用例、研究の展望】 第二次世界大戦時を舞台としたもののみならず、現代のファンタジー小説に装置として使われる「疎開」状況や、児童文学の映画化における戦争の描き方などにも拡大して考えられるうえ、震災やコロナ禍における子どもと社会のありようなどに応用できる研究になると思われる。</p> <p>【研究方法の特色】</p>	
本研究関連特許・論文等	・川端有子 著『第二次世界大戦中のイギリスの集団学童疎開と児童文学への展開』『日本女子大学大学院紀要』2021年 掲載予定 ・川端有子 著『子どもたちの不本意な旅』『日月』2021年 掲載予定	
共同研究・外部機関との連携への期待	戦争児童文学を研究する日本の児童文学研究者と比較文化の試みが期待できる	